



模擬保育室 (3304 教室) が、おもちゃでいっぱいになりました。本学の教員が長年に渡り少しずつ収集してきたおもちゃと学生が授業の一環で製作した手作りのおもちゃで、じっくり遊び込める空間になりつつあります。



みんなの名札作ったよ おうちコーナーでのんびりお喋り おすすめの離乳食は・・・♡ 感触遊びに夢中 はい、どうぞ～♪

子育て支援 わいわい ひろば

2017
Vol.8



作新学院大学女子短期大学部幼児教育科
〒321-3295 栃木県宇都宮市竹下町 908
☎ 028-667-7111 FAX 028-667-7110
平成 29 年 3 月 16 日発行
担当者：穴戸 良子 (作新学院大学女子短期大学部 講師)

幼児教育科教員スタッフ紹介

- ◎あおき あきひこ (幼児教育科長・環境教育)
- ◎いとう あつひろ (教育学) ◎つばい まこと (社会福祉学)
- ◎いのうえ おさむ (音楽教育) ◎ながさわ じゅん (音楽教育)
- ◎おぐり たかひろ (障害児保育) ◎にしだ なおき (言語学)
- ◎きしもと ともり (教育思想史) ◎はなだ ちえ (美術教育)
- ◎くの たかし (図書館情報) ◎ふじむら みちこ (体育)
- ◎したら さえこ (心理学) ◎ししどりょうこ (保育学)

子どもとの遊び方

心地よいみんなの居場所になりますように。



2月のわいわいひろばは、模擬保育室 (3304 教室) で実施しました。
何回も来てくれるお友達は、“今日のお目当てのおもちゃ”があるのでしょうか。一目散に棚に駆け寄ります・・・この日は、お天気のせいか、曜日のせいか、少人数で使い放題、いくらでも駆け回れる日でした?!

ワークショップでは、保護者の方達向けに、2歳頃に強くなる子どものこだわりや興味関心と成長についてお話した後、子どもへの注目の与え方を教員 2 名で少し実演させていただきました。“良い例”が始まると、なぜか子ども達が集まり一緒に遊び出すという現象が。親子関係は一對一かと思いきや、そこでは完結しない意外な波及効果があるようです。(したら)

わいわいひろばの活動拠点は、普段は学生が授業で使用している模擬保育室。この空間を、教室兼子育て支援のひろばとして、どのようにアレンジできるか、0からの創造にドキドキ・ワクワクしながら学生たちに相談すると、各々実習で得てきた技術やアイデアを出し合い、手分けして既存のおもちゃを倉庫から搬入し、全てアルコール消毒を済ませて配置し、手作りおもちゃも新たに追加、棚には絵と文字で誰にでもわかるラベルを作成し・・・と、瞬間に環境を整えてくれました。

2年生の星野菜々子さんはマイカメラで棚を撮影し、“写真によるおもちゃの片付け場所の表示”を提案してくれました。これで、片付け場所も一目瞭然です。こんな風に学生たちのアイデアがたくさん詰まった手作り空間となっています。みんなで“思いやりのバトン”を渡しながら、心地よいみんなの居場所を維持していきたいですね。(ししど)



今後のお知らせ

次年度から、わいわいひろばがリニューアルします！
4 月は準備期間としてお休みをいただきまして、
平成 29 年 5 月から【月 2 回実施】に開催拡大予定です！
詳細は、4 月以降に作新学院大学女子短期大学のホームページをご覧ください。皆さまのお越しをお待ちしております。
<http://www.sakushin-u.ac.jp/>
※上記 URL にアクセスいただくか、「作新 わいわいひろば」で、ご検索をお願い致します。



お問い合わせ先

本件につきまして、ご不明な点等ございましたら、下記までお問い合わせください。
地域協働広報センター ☎028-670-3614
(運営：作新学院大学女子短期大学部幼児教育科)